

2011-A			
国際機関名 (英語略称):		気候投資基金(CIF)	
英文名称:		Climate Investment Fund	
種 別		国連(事務局)	国連(基金・計画) <u>国連専門機関</u> その他
【所管官庁担当局課・室名】:財務省国際局開発政策課			
【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】			
本部: 米国・ワシントンD.C. CIFは、途上国の気候変動対策を支援するために世界銀行に設立された多国間資金メカニズムであり、クリーン・テクノロジー基金(Clean Technology Fund: CTF)と戦略気候基金(Strategic Climate Fund : SCF)の2つの基金から構成されている。CTFは、途上国における温室効果ガス排出削減に資するインフラ関連のプロジェクトを支援し、SCFは、適応/パイロット・プログラム(PPCR: 気候変動に起因する自然災害による被害の軽減等の対策を支援)、森林投資プログラム(FIP: 途上国における、森林減少・劣化に伴うCO2吸収減への対策を支援)、再生可能エネルギー拡大プログラム(SREP: 低所得国における再生エネルギー利用を促進し、低炭素成長を支援。)の3つのサブプログラムから構成されている。これまでの具体的な成果として、途上国諸国が自身の気候変動投資計画を策定するにあたり、CIFの実施機関であるMDBsと協働で投資計画を策定するプロセスを構築した事や、GEFIにおける試験的な案件の成果を基に、CIFの資金によりスケールアップする等の試みを実施されており、我が国としてもCIFのこうした取組みを評価している。			
【当該国際機関の財政(2011年予算)】			
当該年度の総収入額: 1,721,276千米ドル			
当該年度の総支出額: 1,134,788千米ドル			
次年度への繰越額: 586,488千米ドル			
会計検査機関名: KPMG		(現在の構成員の出身国:)	
【任意拠出金の拠出上位5ヶ国等 (2011年のもの)】			
	国 名	金額(千ドル)	拠出率(%) (注)
1位	アメリカ	2,000,000	30.6 %
2位	イギリス	1,414,000	21.6 %
3位	日本	1,200,000	18.4 %
4位	ドイツ	813,000	12.4 %
5位	フランス	300,000	4.6 %
※2011年末時点のブレッツ額およびブレッツシェア			
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5ヶ国等 (2011年のもの)】			
	国 名	金額(千ドル)	拠出率(%) (注)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
【当該国際機関で働く邦人職員】 *2011年末			
邦人職員数	1 人	当該機関全体の職員数	20人
うち幹部以上	うち 0人	及び邦人職員が占める率	5.0%
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
ポストの名称		職 員 氏 名	備 考
【注: 当該国際機関の会計年度】			
当該国際機関の会計年度は毎年7月から6月末までとなっている。したがって、我が国(及び他の加盟国)とは会計年度が異なっているため、拠出率の扱いについては暦年となっている。			